

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件を一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

取扱説明書

保証書付

このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 表示の説明
●図記号の説明

警告



絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火・感電・けがの原因になります。



引火性のあるものや、火の気のあるもののそばで使用しないでください。また、それらのものを吸わせないでください。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



水洗いや風呂場での使用はしないでください。感電する場合があります。



電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。



定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。



電源プラグのほこりなどは定期的にとってください。



本体のモーター保護窓や排気口に金属類・ピン・つまようじ・コインを入れないでください。



注意



電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。



水や吸込口につまりそうなものや粉、先のがったものを吸わせないでください。



床用吸込口を壁やタンスにぶつけないでください。



炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる場所で保管しないでください。



火気に近づけないでください。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



床用吸込口や排気口をふさいで運転しないでください。



電源プラグは、電源スイッチを「切」にして差し込んでください。

ご注意とお願い

この掃除機は家庭用です。業務用やお掃除以外の目的には使用しないでください。

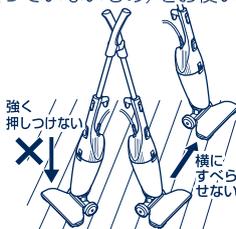
床用吸込口を床に強く押しついたり、横にすべらせて掃除をしないでください。

※床用吸込口の移動により床面に光沢の差ができることがあります。

万一光沢の差がでたら...

- 水を含ませてからしぼった布で床面の汚れをふき取ったあと、市販の床用ワックスを薄く塗り乾燥させてください。
- 市販の床用ワックスで効果がない場合は自動車用のワックス(コンパウンドの入っていないもの)をお使いください。

※自動車用のワックスは研磨剤(コンパウンド)の入っていないものをお使いください。



一度に多量のゴミ、15mm角以上の目立って大きいゴミ、セロハンフィルムなど薄いゴミを吸わせないでください。

一度、電源スイッチを「切」にしてしまったゴミを取り除いてからお掃除を続けてください。

ゴミは早目に捨ててください。衛生面から、お掃除のつごゴミを捨てることをおすすめします。

お願い

- ダストケース・各フィルターははずしたまま掃除をしないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。
- 大きなゴミや、「ゴミ捨て」ラインを超えてゴミを吸わせないでください。
- 土間など土足で歩く場所を掃除しないでください。



電源プラグは、電源スイッチを「切」にして差し込んでください。



電源スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。



ご使用の際の注意事項はありません。



故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。

各部の名称と使いかた・・・このクリーナーは家庭用です。業務用やお掃除以外の目的に使わないでください。

⚠注意

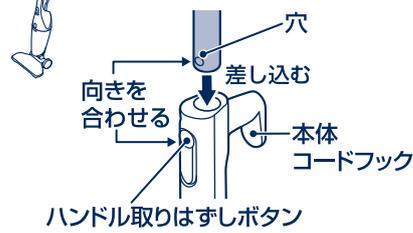
火気に近づけて使用しないでください。

！使用中は、電源コードに足や物を引っかけないようにご注意ください。

！電源プラグは、電源スイッチを「切」にしてから差し込んでください。

〈スティック型クリーナーとして使うとき〉

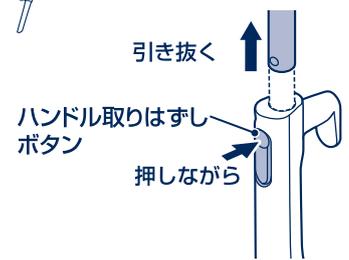
本体とハンドルを接続して使います。



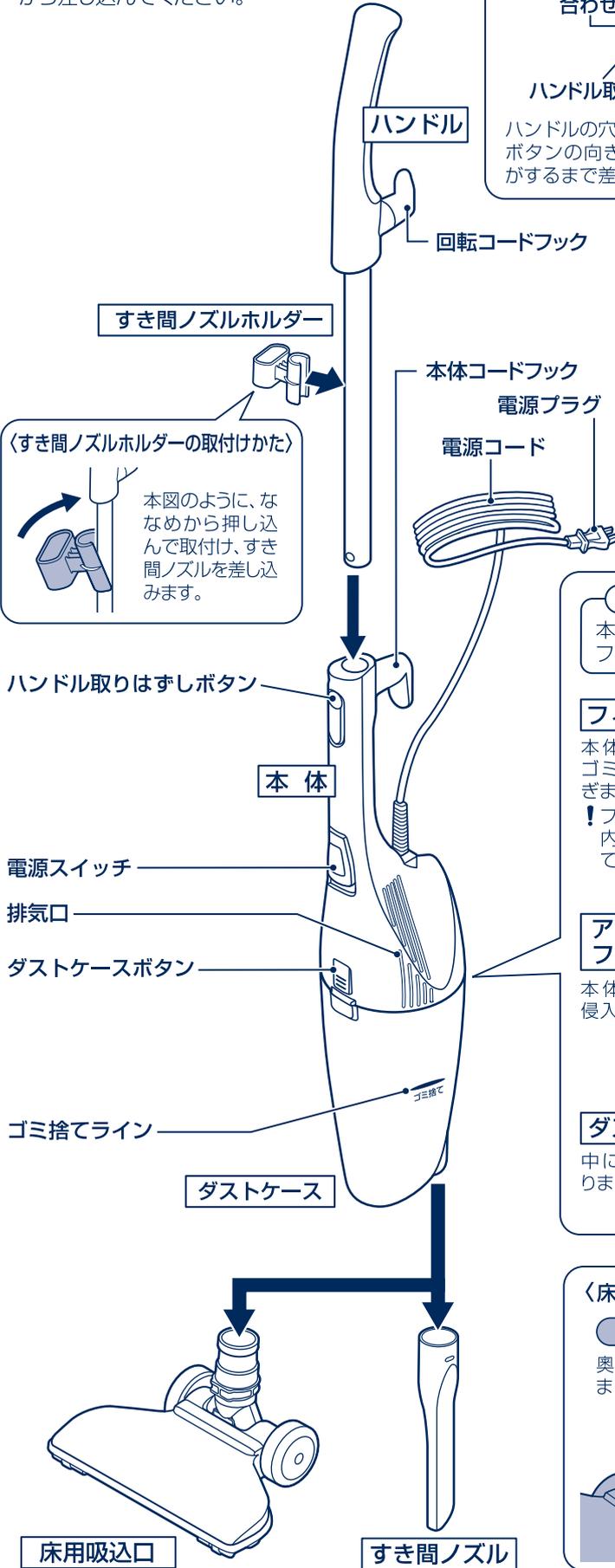
ハンドルの穴の向きをハンドル取りはずしボタンの向きと同じにして「カチッ」と音がするまで差し込みます。

〈ハンディー型クリーナーとして使うとき〉

ハンドルをはずして使います。



ハンドル取りはずしボタンを押しながらハンドルを本体から引き抜きます。



〈使いかた〉

1. 電源スイッチを「入」にします。



2. 掃除をします。

3. 電源スイッチを「切」にします。



！上に向けたまま電源スイッチを切ると、吸込口からゴミが出てくる場合があります。

〈お願い〉

本体へのゴミやほこりの侵入を防ぐため、必ずフィルター、アウターフィルターを取付けてください。

〈フィルター〉

本体への細かいゴミの侵入を防ぎます。

！フィルターは内側に折り返してください。

〈アウターフィルター〉

本体へのゴミの侵入を防ぎます。

〈ダストケース〉

中にゴミがたまります。

〈ダストケースの取付けた／はずしかた〉

〈取付けた〉

図のように合わせて取付けます。

〈はずしかた〉

ダストケースボタンを押しながら取りはずします。

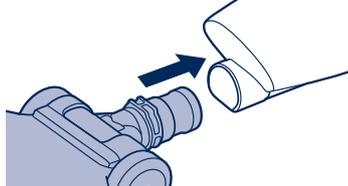
〈ダストケースボタン〉

押しながら

〈床用吸込口の取付けた／はずしかた〉

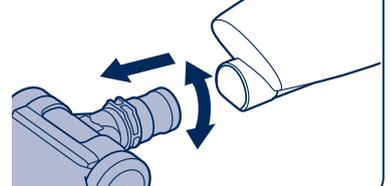
〈取付けた〉

奥までしっかり差し込みます。



〈はずしかた〉

左右に小刻みに回しながら引き抜きます。



お願い 電源プラグをコンセントに差し込む前に組み立ててください。

〈電源コードの収納のしかた〉

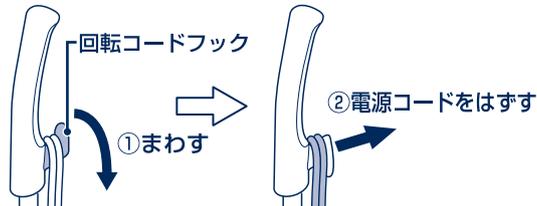
電源コードを回転コードフックと本体コードフックに巻き付けて収納できます。

お願い

電源コードは回転コードフック側から巻きはじめてください。

〈電源コードのはずしかた〉

回転コードフックを回して電源コードをはずします。



〈コード掛けの使いかた〉



お掃除のとき、電源コードが足元にまとわりつくのを防ぎます。

〈お掃除のしかた〉 ハンドルをはずせば、ハンディークリーナーとしてもお使いいただけます。

フローリング

床目にそって軽く動かしましょう。

たたみ

たたみの目にそって、ゆっくりと軽く動かしましょう。

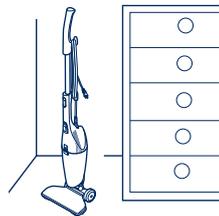
付属のすき間ノズルでスミの掃除

サッシのミゾや階段、家具と家具のすき間などのお掃除をします。

じゅうたん

まずは一定方向に往復し次に直角の方向に動かしましょう。

〈保管のしかた〉



部屋の隅に保管する。

お願い

- 転倒しないように、たいらな場所に安定した状態で保管してください。
- 必ず電源プラグを抜いて保管してください。

ゴミの捨てかた

お願い

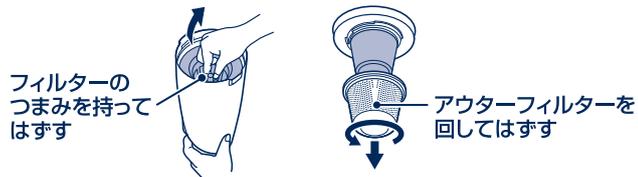
- 「ゴミ捨て」ラインを越える前にゴミを捨ててください。そのまま使用を続けると、アウターフィルター・フィルターにゴミが付着し、吸込力の低下やモーター故障の原因になります。
- ゴミの種類により、「ゴミ捨て」ラインまでゴミがたまる前でもアウターフィルター・フィルターにゴミが付着し、ゴミ捨てが必要になる場合があります。
- フィルターに小さなゴミが付着すると吸込力が弱くなります。フィルターのお手入れをしてください。



1. 本体をはずします。

ダストケースボタンを押して、本体をはずします。

2. フィルターとアウターフィルターをはずします。



3. ダストケースにたまったゴミを捨てます。

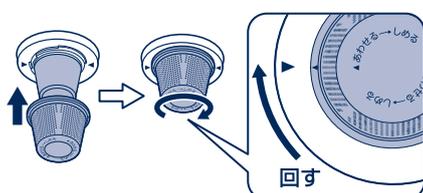


4. アウターフィルターとフィルターについたゴミを落とします。

ゴミ箱のふちなどで軽くたたいて、ゴミを落としてください。



5. アウターフィルターをフィルターに取付け、ダストケースにセットします。



「▲」印を合わせて、アウターフィルターを「→しめる」の方向へ回す



注意

ゴミを捨てる際は、必ず電源スイッチを「切」にして運転を停止させ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れのしかた

お願い

お手入れの際には必ず電源スイッチを「切」にして運転を停止させ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(運転直後には、電源プラグの金属部が熱くなる場合がありますので、金属部分に触れないでください。)

本体・床用吸込口・ハンドル・すき間ノズル・すき間ノズルホルダー

- 乾いたやわらかい布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸してよくしぼってふき、そのあと乾いた布でふき取るときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。

ダストケース・アウターフィルター…ゴミで汚れたときなど

中に溜ったゴミを捨ててから水洗いをしてください。乾いた布でふいたあと、陰干しして十分に乾燥させてから本体に取付けてください。

フィルター…汚れがひどいとき、吸込力が低下したとき

注意

必ずゴミを落としてから水洗いしてください。

1. 表面をぬらして中性洗剤をつけ、表面を軽くなでるように洗います。
2. フィルター内側より水を流し入れ、中性洗剤を洗い流し陰干しで十分乾燥させます。



お願い

- 表面を洗うとき、強くこすらないでください。
- 洗濯機で洗わないでください。
- ヘアードライヤーや乾燥機などの熱風で乾燥させないでください。
- すすぎや乾燥が不十分のまま、ご使用になると、泡が出たり目づまりやにおいの原因になります。

こんなときは

修理・サービスをお申し付けになる前に下記の点をお調べください。

こんなときは？	調べるところ	処 置
電源スイッチを「入」にしてもモーターが回転しない。	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
吸込力が弱い。	アウターフィルター・フィルターが本体に取付けられていますか？	アウターフィルター・フィルターを取付けてください。
	ダストケース内に、ゴミが多くなっていますか？	ゴミを捨てて、アウターフィルター・フィルターのお手入れをしてください。
	湿ったゴミを吸い込ませていませんか？	
	フィルターが目詰まりしていませんか？	
	フィルターの乾燥は十分ですか？	陰干しで十分乾燥してください。
不快なおいがする。	フィルターの乾燥は十分ですか？	陰干しで十分乾燥してください。
ゴミが排気口から飛び出す。	アウターフィルター・フィルターは正しく取付けられていますか？	確実に取付けてください。

仕 様

電 源	AC100V 50-60Hz
消 費 電 力	120W
吸 込 仕 事 率	15W
集 塵 容 量	0.5L
製 品 寸 法 (約)	幅: 225 × 奥行: 155 × 高さ: 1050mm
製 品 質 量 (約)	1.4kg
電 源 コ ー ド	4.5m
付 属 品	本体…1、床用吸込口…1、ハンドル…1、すき間ノズル…1、すき間ノズルホルダー…1

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。
電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

アフターサービス

1.保証書

- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3.修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときには、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。

●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

- このサイクロンスティック型クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共通化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

お客様ご自身の修理は大変危険です。
分解したり手を加えたりしないでください。